



HIGASHIOSAKA

梅狩り (枚岡梅林)



p118 地域別計画の概要

p120 A 地域

p124 B 地域

p128 C 地域

p132 D 地域

p136 E 地域

p140 F 地域

p144 G 地域



地域別計画

地域別計画の概要

地域別計画

118

地域別計画の考え方

本市では、まちづくりを考える目安となる7つの地域を設定し、活動・交流の拠点としてリージョンセンターを設置しています。

地域別計画は、AからGの各地域の特性を生かした個性的なまちづくりを進めるため、市民が主体的に取り組む内容をまとめた計画です。

この計画は、平成20年度に実施した地域別ワークショップでの検討結果・提言をもとに、市民が考えるまちづくりの取り組みについて、市民、市役所それぞれの役割を明らかにするものです。

地域ごとの取り組み

A地域

- ①市民が中心の防犯活動を進めます
- ②道路課題の解消や、防災に関する取り組みを進めます
- ③だれもが利用、参加できる子育ての仕組みをつくります
- ④高齢者が地域で生き生きと暮らせる仕組みをつくります
- ⑤豊かな自然・文化環境を守り、その魅力を発信します

B地域

- ①思いやりと気配りにあふれたまちをつくります
- ②地域資源を発掘し、地域の情報を発信します
- ③協働して活動する場をつくります

C地域

- ①安全な道づくりに取り組みます
- ②歴史を生かし、新たな文化を創造します
- ③多くの国・地域の人との交流を進めます
- ④文化活動の輪を広げます

D地域

- ①地域コミュニティの輪を一層広げます
- ②安全・安心・健康に暮らせるまちをつくります
- ③地域の資源を生かし、伝えていきます
- ④美しいまちを保ちます

E地域

- ①犯罪や災害のないまちで安心して暮らせるようにします
- ②緑豊かな環境を育みます
- ③安全に通行できる道路を考えます
- ④稲田桃がすくすく育ち、交流が育まれるまちにします

F地域

- ①地域課題解決の仕組みをつくります
- ②安全で安心できるまちにします
- ③商店街を活性化し、技術のまちをアピールします
- ④コミュニケーションを育みます

G地域

- ①コミュニティ活動を盛んにします
- ②利用しやすく、安全な道路や交通環境をつくります
- ③長瀬川を核としてまちづくりを考えます
- ④地域と大学の連携や交流を進めます



○こんな地域をめざします

それぞれの地域は、
つぎのようなまちをめざして
取り組みを進めます。



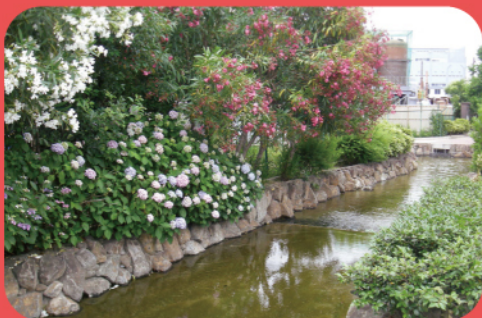
A 地域

歴史や豊かな自然環境を生かすとともに、安全・安心で、すべての人が互いに敬意を持って接することができる地域をめざします。



B 地域

まちが持つ資源を生かし、安心して暮らすことができ、多くの人々が「住みたい、行きたいと思う地域」をめざします。



C 地域

市民や地域、市役所で協力して安全で住みよい生活空間をつくり、「地域の個性を生かした安全で快適に暮らせる地域の創造」をめざします。



D 地域

市民や事業者、団体のコミュニティの輪を広げ、「笑顔で満ちあふれる」まちをめざします。



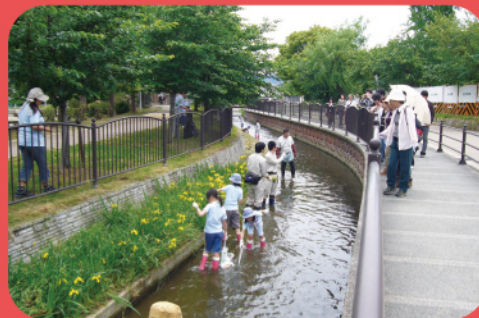
E 地域

「人の交流が盛んで、安全・安心・便利なまち、稲田桃が春には花咲き、夏にはたわわに実り、収穫でにぎやかなまち」をめざします。



F 地域

多くの市民の参加により、「高齢者も若者も住みよいまち」「活気あふれるまち」「安全・安心のまち」をめざします。



G 地域

地域の資源である長瀬川を活用し、美化や防災、福祉、教育などに、市民や事業者、大学、市役所が一丸となって取り組みます。



私の好きな東大阪の風景

新石切駅

A 地域

地域からの声、提言

A地域は、長い歴史によって培われてきた文化や豊かな自然環境に恵まれ、自治会活動やまちづくり活動が盛んです。このような地域の特徴を生かして、安全・安心で、子どもから高齢者までが互いに敬意を持って接することができる地域をめざします。

地域が抱える問題は多く、また市民のニーズもさまざまであることから、従来型のハード面の整備や補助金の交付だけでは、十分な対応が難しいと考えます。市民がまちづくりに主体的に参画し、自らが考え、問題解決に向けた行動を起こし、それを市役所が支援する仕組みを、市民と市役所と一緒に考え、つくります。

地域の特徴と課題

地域のよい点

- ・生駒山を中心とした緑や清流といった豊かな自然環境があります。
- ・歴史的遺産が豊富です。
- ・大阪平野の眺望や夕日など、すぐれた景観があります。
- ・「愛ガード運動」など、子どもや高齢者を見守る市民主体の取り組みが盛んです。
- ・夜回りなどの防犯活動に積極的で、犯罪の発生を未然に防ぐことにつながっています。

地域の課題

- ・各種の取り組みに参加する市民の固定化、高齢化が見られ、一部の市民の負担が重くなっています。
- ・狭く、入り組んだ道路が多いことなどから、交通の安全や緊急車両の通行の確保に取り組む必要があります。
- ・防災情報が市民や警察、市役所などの間で十分に共有されていません。
- ・育児などの目的で市民が気軽に利用できる施設が不足しています。
- ・生駒山ろくの自然を生かした取り組みを進める必要があります。
- ・人的資源や資金面、情報など幅広い支援が必要です。

安心して子どもを生み、育てることができるまちづくりが進められていると思う市民の割合

平成20年

A 地域 **23.8%**

東大阪市全体 25.7%

A 地域の文化財指定登録件数
(市全体の件数)



A 地域の4歳以下の人口割合
(市全体の割合)



市民や地域が取り組みます

1 市民が中心の防犯活動を進めます

自治会などを中心とした町内見回りなどの防犯活動をより一層進めていきます。また、より多くの市民がこの活動に参加できる仕組みをつくっていきます。

夜間の安全確保のため、防犯灯を増やしていきます。

犬を散歩させる時に見回りをする防犯活動「ワンワンパトロール」などに、多くの市民が参加できるようにしていきます。

2 道路課題の解消や、防災に関する取り組みを進めます

地域内の道路状況や交通状況などを具体的に把握し、地域に合った交通規制案をつくり、警察などへ提供していきます。

地域内にある生駒断層などの防災関係情報などをもとに、市民が取り組むべき防災対策に関する体制をつくっていきます。また、防災訓練などにより多くの市民が参加できる仕組みをつくっていきます。

3 だれもが利用、参加できる子育ての仕組みをつくります

地域内の空き家や空き店舗、公共施設などを子育てのために活用し、市民による運営を行っていきます。また、「愛ガード運動」に、より多くの市民が参加できる仕組みをつくっていきます。

4 高齢者が地域で生き生きと暮らせる仕組みをつくります

伝統食をはじめとした文化の継承の機会など、高齢者と若い世代が触れ合い、交流する仕組みをつくることにより、高齢者が生きがいを感じ、世代を超えて互いが認め合えるようにしていきます。

5 豊かな自然・文化環境を守り、その魅力を発信します

生駒山ろくの森林などの自然環境や、地域内の歴史・文化遺産、景観などを、市民が中心となって整備し、守ることで、観光資源として活用するなど、多くの人が親しみ、楽しめるようにしていきます。

市役所が共に取り組みます

防犯や防災に役立つ情報を提供する仕組みをつくっていきます。

・市民が主体的に活躍するまち(1節:P34) ・危機や災害への備えが万全なまち(27節:P102)

市民や警察、市役所などの協働の下、道路や防災に関する話し合いができる仕組みをつくっていきます。

・危機や災害への備えが万全なまち(27節:P102)
・安全で便利な交通機関や道路のあるまち(31節:P110)

地域で活動する自主防災組織をさらに活性化していきます。

・みんなで支え合う福祉のまち(16節:P72)
・危機や災害への備えが万全なまち(27節:P102)

愛ガード運動の推進や、公共施設を子育てに利用しやすくするなど、市民による子育て事業を進めていきます。

・学校・家庭・地域が一緒になって子どもを育むまち(10節:P56)
・安心して子どもを生み、育てられるまち(17節:P74)

高齢者の生きがいづくり事業など、市民による交流事業を進めていきます。

・多くの国・地域や人の交流が育まれるまち(8節:P52)
・高齢者が生きがいを持って暮らせるまち(18節:P76)

文化環境の施設を整備するとともに、文化や観光の情報を発信していきます。

・文化に親しめるまち(6節:P48) ・歴史や伝統を大切にすまち(7節:P50)
・多くの国・地域や人の交流が育まれるまち(8節:P52)

市民が主体となった自然環境整備を進めていきます。

・水と緑に親しめるまち(29節:P106)



私の好きな東大阪の風景

日下公園

A地域



A地域は、人口が緩やかに増加し、同時に高齢化が急激に進むことが見込まれます。

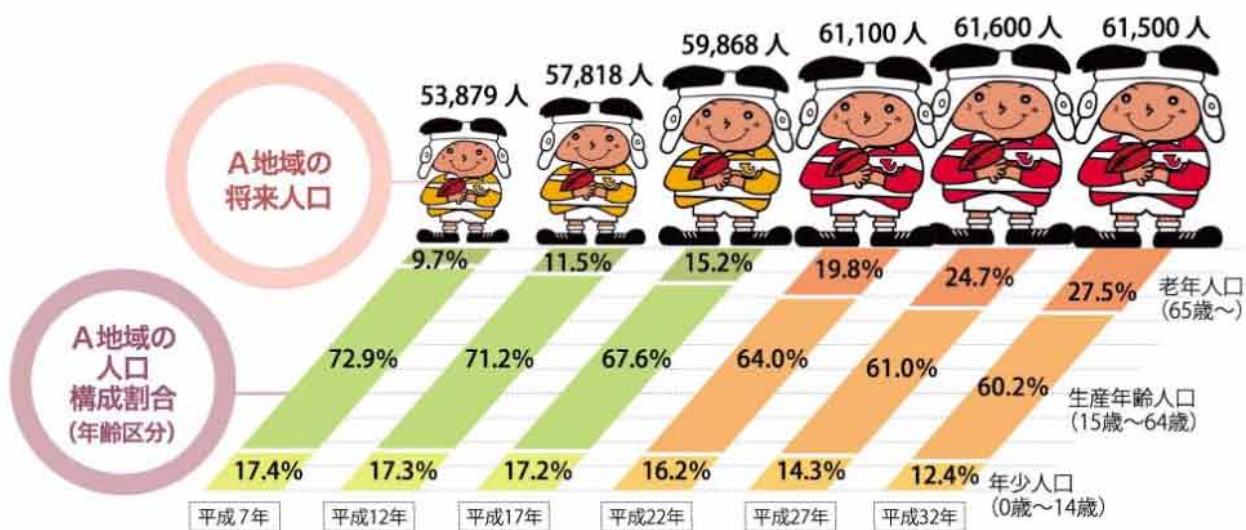


A地域から見た夜景

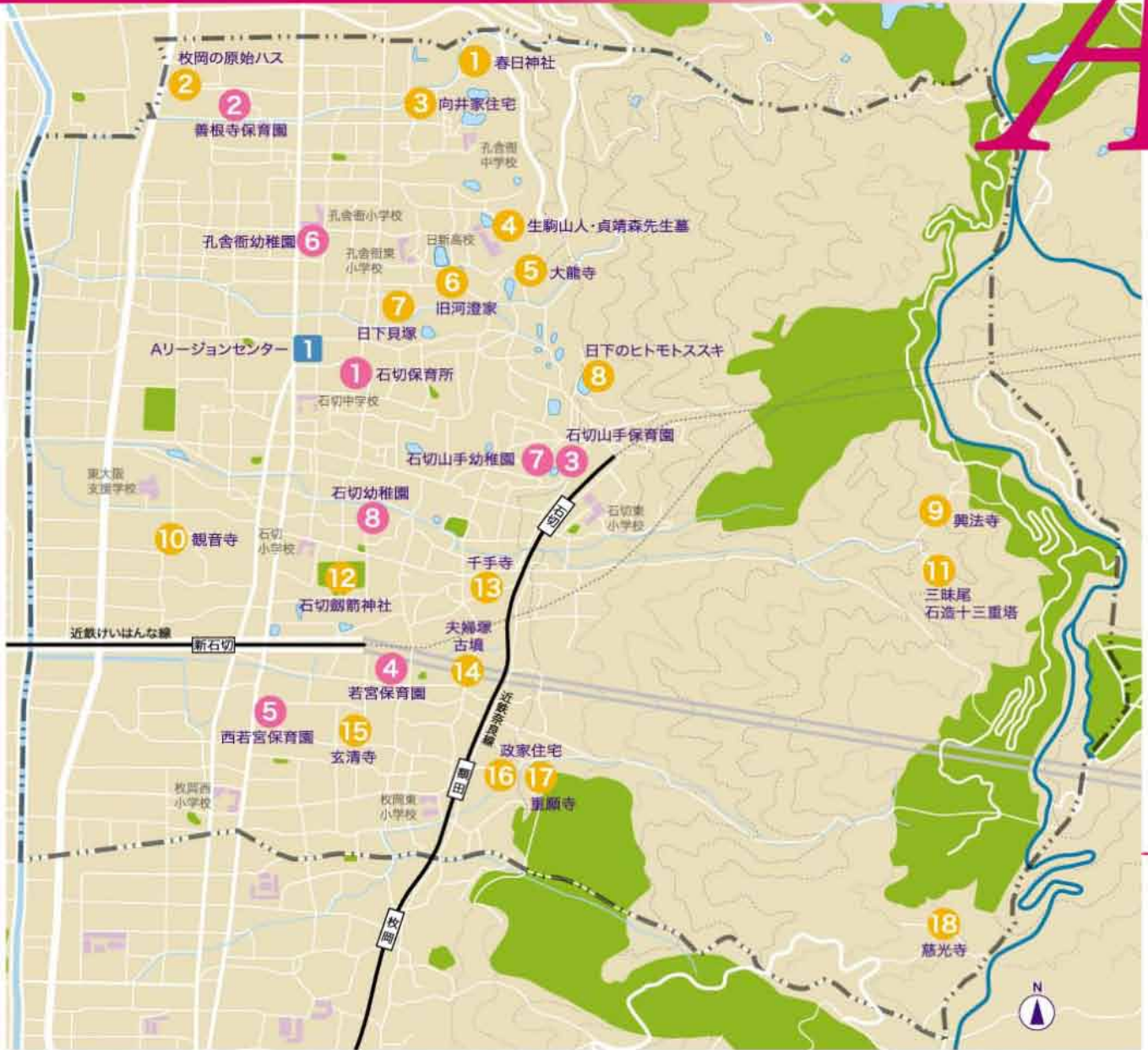


Aリージョンセンター（ゆうゆうプラザ）

A地域の将来人口 および 人口構成割合（年齢区分）



(出典)「平成12年国勢調査」および「平成17年国勢調査」総務省統計局より推計



- 歴史・自然**
- 1 Aリージョンセンター
 - 1 春日神社(市文化財)
 - 2 枚岡の原始ハス(府天然記念物)
 - 3 向井家住宅(市文化財)
 - 4 生駒山人・貞靖森先生墓(市史跡)
 - 5 大龍寺(市文化財)
 - 6 旧河澄家(市文化財・市天然記念物)
 - 7 日下貝塚(国史跡)
 - 8 日下のヒトモトスキ(市天然記念物)
 - 9 興法寺(府文化財)
 - 10 観音寺(市文化財)
 - 11 三味尾石造十三重塔(市文化財)
 - 12 石切劔箭神社(市天然記念物)
 - 13 千手寺(府文化財・市文化財)

- 歴史・自然**
- 14 夫婦塚古墳(市史跡)
 - 15 玄清寺(市文化財)
 - 16 政家住宅(市文化財)
 - 17 重願寺(市文化財)
 - 18 慈光寺(府文化財)
- 子育て**
- 1 石切保育所
 - 2 善根寺保育園
 - 3 石切山手保育園
 - 4 若宮保育園
 - 5 西若宮保育園
 - 6 孔舎衝幼稚園
 - 7 石切山手幼稚園
 - 8 石切幼稚園



私の好きな東大阪の風景
石切

地域からの声、提言

B地域は、自然や歴史、ネットワーク、市民意識など、まちが持つ資源を生かし、高齢者から子どもまでが安心して暮らすことができ、人がこの地域を魅力的と思い「住みたい、行きたいと思う地域」にすることをめざします。

そのため、「ネットワークの再構築と強化」の視点から「具体的なアイデアや行動計画」を考え、3つのテーマに取り組みます。

地域の特徴と課題

地域のよい点

- ・ B地域には、生駒山ろくに広がる里山などの豊かな自然や、古墳群などの歴史的な施設、遺跡が数多くあります。
- ・ 地域の人をつなぐネットワークがいくつも形成されています。
- ・ ボランティア活動が活発で、地域を活性化するための潜在的な力があります。

地域の課題

- ・ ボランティア活動においては、関係団体とうまく連携することが大切です。
- ・ 豊富な地域資源がありますが、しっかり掘り起こすことや、整理することが必要です。
- ・ 地域の魅力を地域外へ発信するためにも、まず、市民が地域の魅力を知ることが求められます。
- ・ 地域のネットワークを強化していくことが重要です。

住みやすいと感じている
市民の割合

平成20年

B地域 25.1% | 東大阪市全体 30.9%

B地域の文化財指定登録件数
(市全体の件数)



瓢箪山駅周辺の1日の放置自転車台数
(市全体の台数)



市民や地域が取り組みます

1 思いやりと気配りにあふれたまちをつくります

暮らしやすいまちにするためには、市民一人ひとりが他人を思いやる意識を向上させ、マナーを改善する必要があります。地域には、市民意識やマナー向上の必要性に気付きを与える工夫や、地域の声を吸い上げる役割が求められます。

そのため、市民や関係団体、市役所のそれぞれの活動の調整を行い、市民の意識改革を地域の取り組みとして反映する主体として「場」を設けることなどにより、さらなる改善活動を行っていきます。

2 地域資源を発掘し、地域の情報を発信します

地域の魅力を内外に知らせるためには、市民一人ひとりが地域を見直し、資源の発掘、整理を行い、地域の情報を蓄え、地域ガイドとなる必要があります。地域には、地域資源情報を集め、地域の魅力を発信する役割が求められます。

そのため、一人でも情報発信できる仕組みや、地域が主体的に情報発信していく取り組みが必要です。

具体的には、市民一人ひとりが地域回覧板や案内板、地域情報のホームページ作成などによって発信していきます。また、地域では、高齢者へのインタビューや、史料の編さん、文化講座の開催など、地域情報がさらに魅力あるものになるよう工夫(物語つきの地域探索マップの作成など)することなどが考えられます。

3 協働して活動する場をつくります

地域ネットワークをつくるため、市民一人ひとりが身近な人とかわることからはじめ、それをつなげていくことで、ネットワークを広げていきます。地域は、ネットワークの活性化や仲介などの役割を担っていきます。

そのため、これまでのネットワークや団体などを新たにつなぎ、市民一人ひとりの参加を促す組織が必要です。

具体的には、まちづくりを考える「場」を設置していきます。「場」は、地域のさまざまな個人やネットワーク、団体などが参加して地域の問題を解決する中心となり、人が出会う「場」となります。そして、市民の意識を改革し、地域資源の情報を収集・発信する核になります。

「場」は、課題ごとに関係者の組み合わせを変えられるようにすることが理想です。

このように、地域の課題解決に関係するさまざまな役割を「場」が担っていきます。

市役所が共に取り組みます

市民や関係団体、市役所の協力関係の下、活動する協働の「場」づくりに取り組んでいきます。
・市民が主体的に活躍するまち(1節:P34)

市民や地域が掘り起こした地域資源の情報を、魅力あるまちの情報として発信していきます。
・文化に親しめるまち(6節:P48) ・多くの国・地域や人の交流が育まれるまち(8節:P52)

市民や地域が、自ら情報の発信や交換ができるよう、地域情報システムを整備していきます。
・文化に親しめるまち(6節:P48) ・行財政編(P155)

ネットワークや組織の運営維持に取り組むとともに、協働する組織や施設の交流を盛んにしていきます。
・市民が主体的に活躍するまち(1節:P34)
・多くの国・地域や人の交流が育まれるまち(8節:P52)



私の好きな東大阪の風景

枚岡神社

B 地域



B地域は、人口が大幅に減少し、同時に高齢化が急激に進むことが見込まれます。

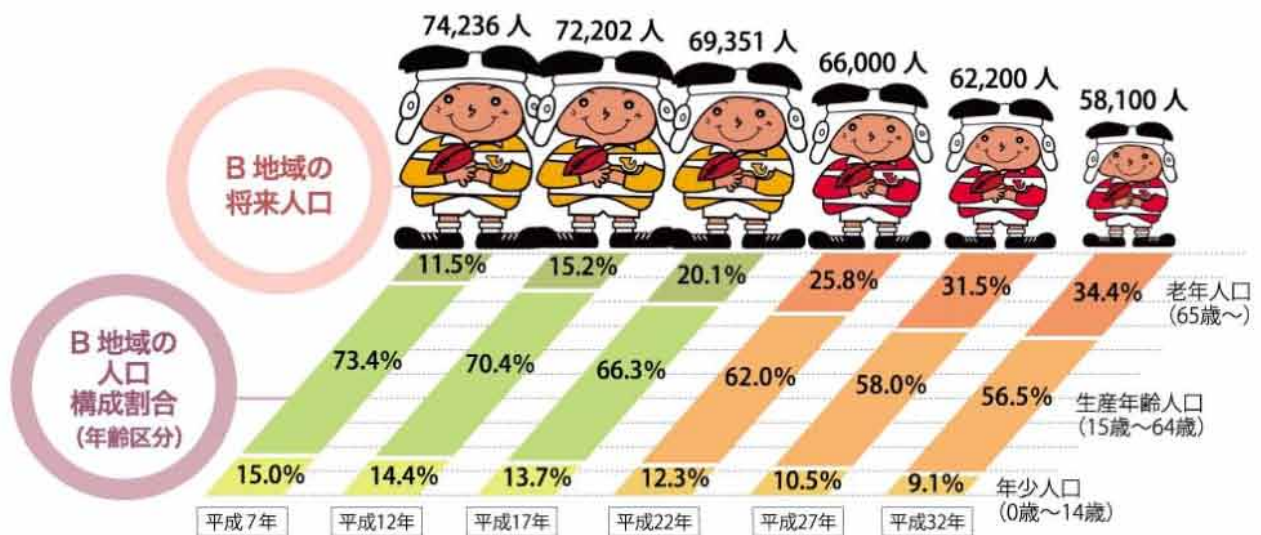


B 地域から見た夕日

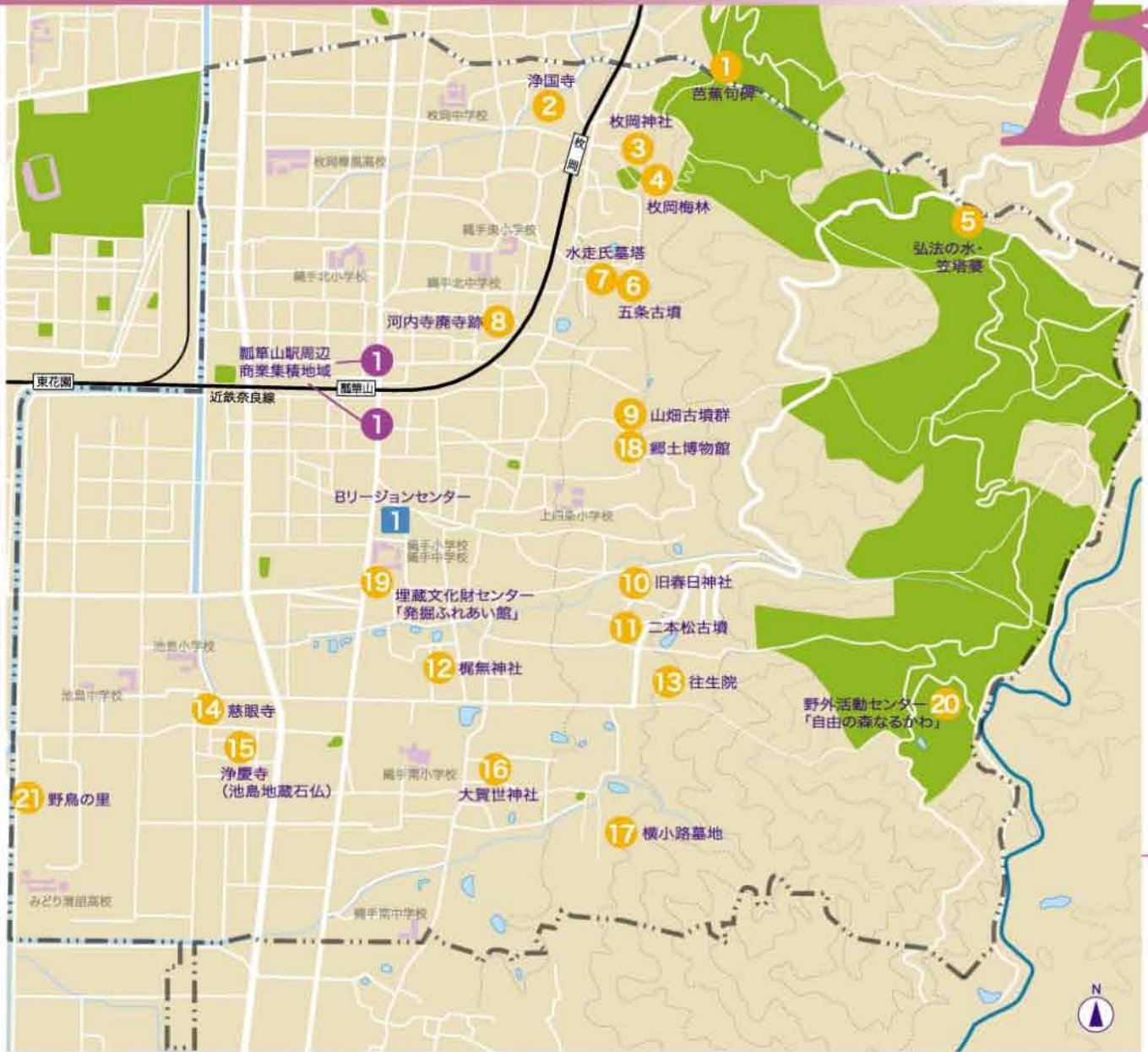


B リージョンセンター (やまなみプラザ)

B 地域の将来人口 および 人口構成割合 (年齢区分)



(出典)「平成12年国勢調査」および「平成17年国勢調査」総務省統計局より推計



- | | |
|--------------|-------------------------|
| | 1 Bリージョンセンター |
| 産業 | 1 瓢箪山駅周辺商業集積地域 |
| 歴史・自然 | 1 芭蕉句碑(市史跡) |
| | 2 浄国寺(市文化財) |
| | 3 枚岡神社(市文化財) |
| | 4 枚岡梅林(市名勝) |
| | 5 弘法の水・笠塔婆(市文化財) |
| | 6 五条古墳(市史跡) |
| | 7 水走氏墓塔(市史跡) |
| | 8 河内寺廃寺跡(国史跡) |
| | 9 山畑古墳群(市史跡) |
| | 10 旧春日神社(市文化財) |

- | | |
|--------------|------------------------------|
| 歴史・自然 | 11 二本松古墳(市史跡) |
| | 12 梶無神社(市天然記念物) |
| | 13 往生院(府史跡・市史跡・市文化財) |
| | 14 慈眼寺(市文化財) |
| | 15 浄慶寺(池島地藏石仏)(市文化財) |
| | 16 大賀世神社(市文化財) |
| | 17 横小路墓地(市文化財) |
| | 18 郷土博物館 |
| | 19 埋蔵文化財センター「発掘ふれあい館」 |
| | 20 野外活動センター「自由の森なるかわ」 |
| | 21 野鳥の里 |



私の好きな東大阪の風景

瓢箪山駅前

C地域

地域からの声、提言

C地域は、「地域の個性を生かした安全で快適に暮らせる地域の創造」をめざし、市民や地域、市役所が協力して安全で住みよい生活空間をつくります。

地域は、歴史や文化、産業など多くの資源を持っています。これらの地域資源を市民や地域、市役所それぞれの持つ媒体を使って発信するとともに、人が集い、モノが集まり、情報が集まる便利な地域にします。

地域の特徴と課題

地域のよい点

- ・南西部は東大阪新都心として整備され、市役所や府立中央図書館、スーパーなど比較的新しいまち並みがあります。
- ・北西部には、鴻池新田会所を中心とした歴史・文化的な景観が広がります。
- ・河川や水路などの潤い空間もあり、トラックターミナルなどの企業集積地もあるといった、さまざまな特徴を持っています。
- ・だんじりパレードや祭など、市民のつながりが強いまちです。
- ・平成19年から鴻池ジャズフェスティバルが開始するなど、鴻池新田会所を核として、新しい文化が創造、発信され、地域でのいろいろな文化活動が芽吹いています。

地域の課題

- ・狭い道路だけでなく、幹線道路においても通行に危険な場所があります。
- ・鴻池新田会所など、地域にある文化遺産を有効に活用することができていません。
- ・地域内に住んでいる多くの国・地域の人が、生活文化や習慣の違いを互いに理解することが求められています。
- ・地域のサークル活動などが一部の人の活動にとどまっています。

多くの国・地域や人の交流が盛んだと思う市民の割合

平成20年

C地域 22.3%

東大阪市全体 19.6%

C地域の外国人登録者数
(市全体の登録者数)



鴻池新田会所の入館者数



市民や地域が取り組みます

1 安全な道づくりに取り組みます

市民一人ひとりが、道路にはみ出している庭木の枝を切る、ポイ捨てをしない、日常的に清掃活動を行うなど、道路を使う人の身になってマナー向上に取り組んでいきます。

地域では、事故が多い個所や見通しが悪い個所、危険な個所などの情報を集めて市役所へ報告するなど、共に改善に取り組んでいきます。また、違法駐車などに対してマナーを守るよう、関係団体と協力して呼び掛けていきます。

2 歴史を生かし、新たな文化を創造します

市民一人ひとりが鴻池新田会所などの地域の文化遺産を訪れたり、鴻池ジャズフェスティバルなどの文化活動に参加したりすることで、地域の魅力を再発見するとともに、これらの文化資源を地域に根付かせていきます。

地域では、文化資源を守り育てるための活動や有効活用策の発案などに積極的に取り組み、地域から文化を発信していきます。

3 多くの国・地域の人との交流を進めます

地域内の外国籍住民と共に地域で暮らすためには、互いをよく知り、偏見を無くし、互いに相手の文化を受け入れることが必要です。そのため、市民一人ひとりが、日ごろから外国籍住民とのコミュニケーションを深め、外国籍住民が住みよくなるように努めていきます。

地域では、外国籍住民と市民が気軽に参加できるイベントを開催し、参加を促すとともに互いの文化の理解に努めていきます。

4 文化活動の輪を広げます

市民間やサークル間のコミュニケーションの輪をさらに広げ、文化活動を地域全体のものとするために、市民一人ひとりが活動に参加するとともに、世代を超えて、回りの人に参加を呼び掛けていきます。

地域では、さまざまな活動の情報を発信して参加を促すとともに、運営ボランティアなど、ボランティア活動の啓発を行っていきます。また、地域での活動を発展させていくための方法を自ら考え、市役所に提案していきます。

市役所が共に取り組みます

地域から報告された課題個所を把握して、優先度の高い道路から計画的に整備していきます。

・安全で便利な交通機関や道路のあるまち(31節:P110)

道路利用マナーを向上させるための啓発、看板の設置などを行っていきます。

・安全で便利な交通機関や道路のあるまち(31節:P110)

地域の文化資源を積極的にPRしていきます。また鴻池新田会所などの文化遺産が市民に開かれた身近な施設となるよう、有効に活用していきます。

・文化に親しめるまち(6節:P48) ・歴史や伝統を大切にすまち(7節:P50)

交流会の開催など、地域にノウハウの少ない取り組みでは、市役所が主導し、開催につなげていきます。また、地域の取り組みが継続していけるようにするとともに、これらの情報を発信していきます。

・多くの国・地域や人の交流が育まれるまち(8節:P52)

地域のサークル活動や情報交換ができる「場」づくりに取り組むとともに、利用しやすい公共施設としていきます。

・市民が主体的に活躍するまち(1節:P34)
・多くの国・地域や人の交流が育まれるまち(8節:P52)



私の好きな東大阪の風景

緩衝緑地公園

C地域



C地域は、人口が大幅に増加し、同時に高齢化が緩やかに進むことが見込まれます。

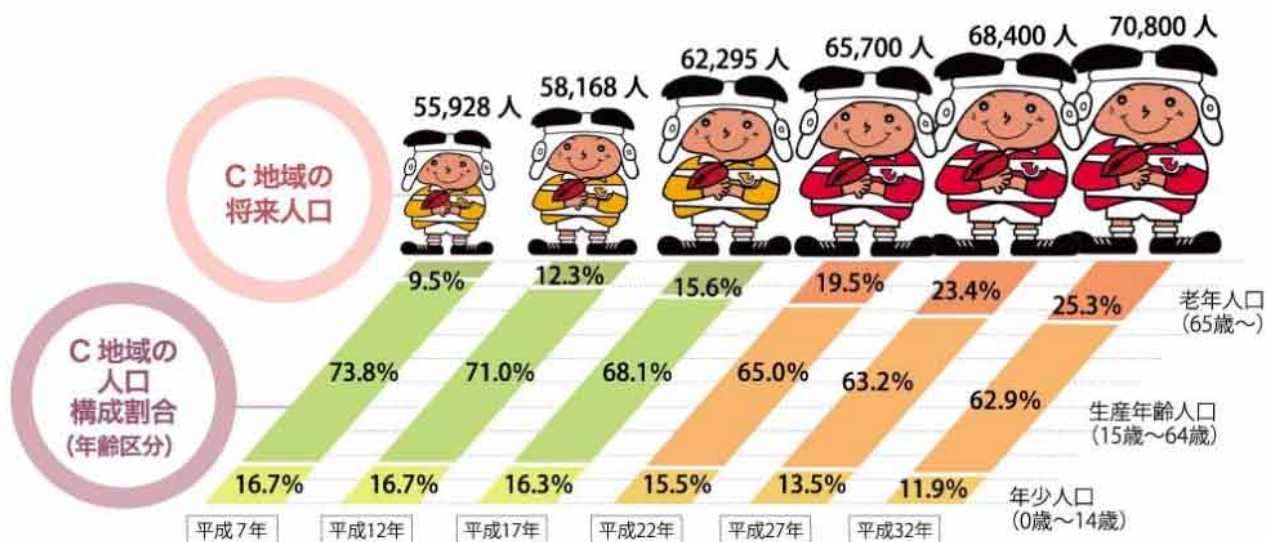


雪化粧した鴻池新田会所

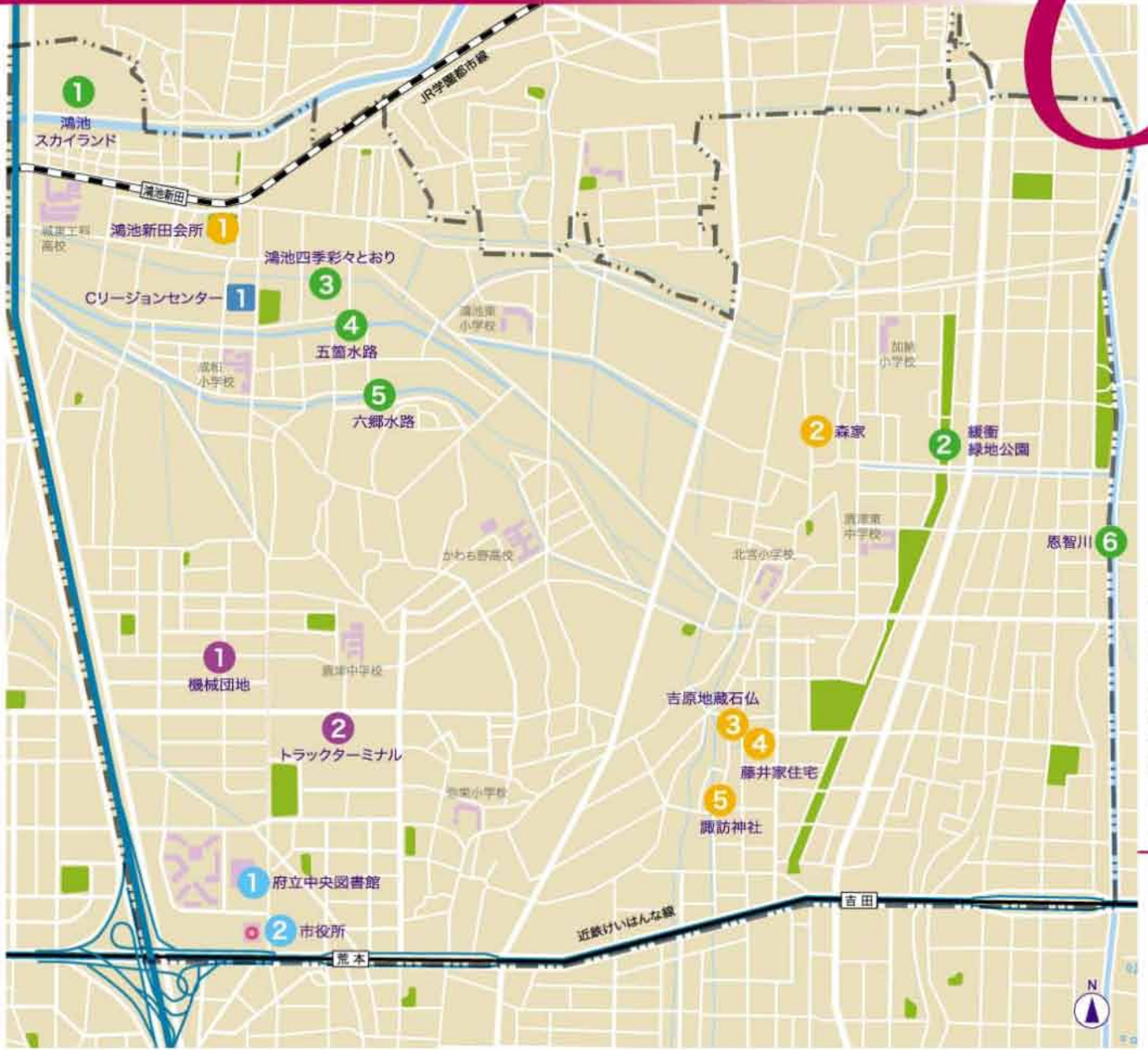


Cリージョンセンター（グリーンハル）

C地域の将来人口 および 人口構成割合 (年齢区分)



(出典)「平成12年国勢調査」および「平成17年国勢調査」総務省統計局より推計



歴史・自然	1	Cリージョンセンター
	1	鴻池新田会所(国史跡・国文化財)
	2	森家(市文化財)
	3	吉原地蔵石仏(府文化財)
	4	藤井家住宅(市文化財)
	5	諏訪神社(市文化財)
産業	1	機械団地
	2	トラクターミナル

水・緑	1	鴻池スカイランド
	2	緩衝緑地公園
	3	鴻池四季彩々とおり
	4	五箇水路
	5	六郷水路
	6	恩智川
新都心	1	府立中央図書館
	2	市役所



私の好きな東大阪の風景
鴻池四季彩々とおり

D地域

地域からの声、提言

D地域は、地域を「笑顔で満ちあふれる」まちとするために、市民や事業者、団体のコミュニケーション力を高めて、コミュニティーの輪を広げます。

コミュニティーの輪が広がることで、高齢化や子育て、防犯、美化活動など地域で抱えるいろいろな課題を解決するための取り組みを、一層進めることができると考えます。

そうすることで、地域全体が一つとなった「安全・安心なまちづくり」を推進するとともに、地域資源の魅力を再発見し、「地域を生かし、伝えて」いきます。

地域の特徴と課題

地域のよい点

- ・ 商工業地や農業地、住宅地と多様な顔があります。
- ・ 古くからの住宅街と新しく開発された住宅街が混在していますが、地域のつながりがよく、まとまりがあります。
- ・ 地域資源として、瓜生堂遺跡や若江城跡などの文化遺産や、花園中央公園をはじめ、数多くの文教・スポーツ施設があります。
- ・ 交通の便がよく買い物にも便利な、生活しやすいまちです。

地域の課題

- ・ 身近にコミュニティー活動を行える場所がありません。
- ・ 放置自転車対策や、通行時の自転車マナーを向上させる必要があります。
- ・ 狭い道路が多いため緊急車の出入りができないなど、防犯や防災面での不安があります。
- ・ 子どもたちの安全のさらなる向上が重要です。
- ・ 高齢者が多くなってきています。
- ・ 地域の歴史や文化、産業が地域の人にあまり知られていないため、失われてしまう恐れがあります。
- ・ まちを美しく保つための取り組みが必要です。

D地域の4歳以下の人口割合^①
(市全体の件数)



市民美術センターの入館者数



D地域の鉄道駅^{※1}周辺の1日の放置自転車台数
(市全体の台数)



※1 D地域の鉄道駅：東花園、河内花園、若江岩田の3駅。

市民や地域が取り組みます

1 地域コミュニティの輪を一層広げます

市民一人ひとりが、高齢者への声掛け運動などのボランティア活動へ参加していきます。また、地域での文化活動へ積極的に参加し、地域情報の発信者となっていきます。

地域では、子育て世代同士や子育て経験者とのネットワークづくり、高齢世帯の把握、市民が身近に憩える地域づくりを行っていきます。

また、地域の人材の掘り起こしや、人材に関する情報を提供していきます。

2 安全・安心・健康に暮らせるまちをつくります

市民自ら防犯意識を向上させ、「愛ガード運動」や「子ども110番活動」など、地域の取り組みに参加していきます。また、いつまでも健康に過ごすために、地域のスポーツサークルに参加していきます。

地域では、駅前の自転車を減らすため、「(仮称)駅まで1kmは歩こう」運動に取り組むほか、道路利用マナーの向上活動、道路課題の把握や交通規制の要望活動などに取り組んでいきます。また、地域巡回など防犯活動や防災訓練、「愛ガード運動」など学校と連携した子どもの安全確保をさらに進めていきます。

3 地域の資源を生かし、伝えていきます

地域が活性化するためには、市民自らが日々の買い物をする近くのスーパーや商店で行い、地元の産物を知り、広めることが必要です。また、地域産業の勉強会へ参加したり、ボランティア活動を通じ地域の歴史に触れたり、学校での出前講座に講師としてかかわるなど、自らが地域を生かし、伝えていきます。

地域では、特産物のPRや地域の事業者を招いた勉強会など、地域内外の取り組みを通じて、地域情報をあらゆる方向に発信していきます。また、地域の歴史に詳しい人との話の場を設けるほか、ラグビーサポーターや歴史サポーターなど地域活動を応援する人を育成していきます。

4 美しいまちを保ちます

市民一人ひとりが、ごみの分別ルールを守るとともに、ごみの活用に関するアイデアを出し合います。また、地域の歴史を感じるまち並みの保全に努めていきます。

地域では、ごみの分別をより一層進め、清掃活動に取り組み、地域ぐるみでまちをきれいにしていきます。

市役所が共に取り組みます

地域コミュニティによるさまざまな活動に取り組んでいきます。

・市民が主体的に活躍するまち(1節:P34) ・みんなで支え合う福祉のまち(16節:P72)

校庭開放の推進など子どもたちが伸び伸びと遊べる場所を提供していきます。

・学校・家庭・地域が一緒になって子どもを育むまち(10節:P56)

地域の実情にあわせた防犯・防災マップの作成に取り組むとともに、防犯施設や災害時の避難場所の整備、被災時のライフラインの確保に取り組んでいきます。

・危機や災害への備えが万全なまち(27節:P102)

緊急活動が円滑に行えるよう、道路の改良や迷惑駐車等の指導・啓発などを行っていきます。

・安全で便利な交通機関や道路のあるまち(31節:P110)

地域産業のPRや販路開拓などに取り組んでいきます。

・モノづくりが元気なまち(21節:P86) ・農業と農地空間を大切にすまち(23節:P90)

農地空間や文化財、「ラグビーのまち東大阪」の取り組みなど、地域資源の保全と活用を進めていきます。

・文化に親しめるまち(6節:P48) ・いくつになっても学べるまち(9節:P54)

生ごみのたい肥化の促進や、焼却熱の有効利用などに取り組んでいきます。

・良好な環境を次代に引き継ぐまち(32節:P112)



私の好きな東大阪の風景

市民美術センター

D地域



D地域は、人口が減少し、同時に高齢化が進むことが見込まれます。

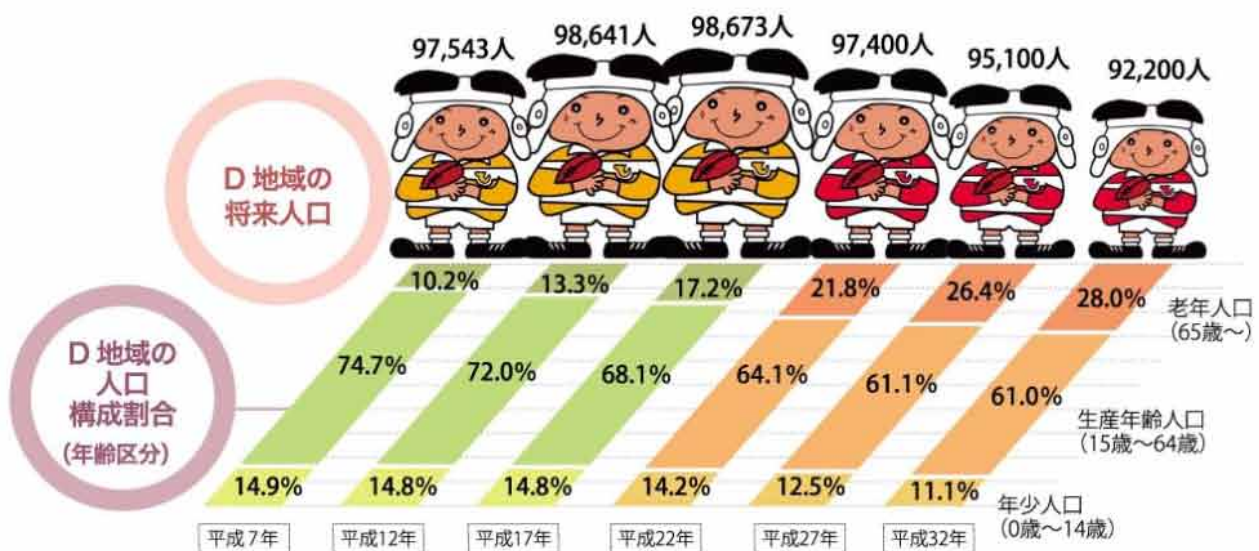


花園中央公園の花しょうぶ

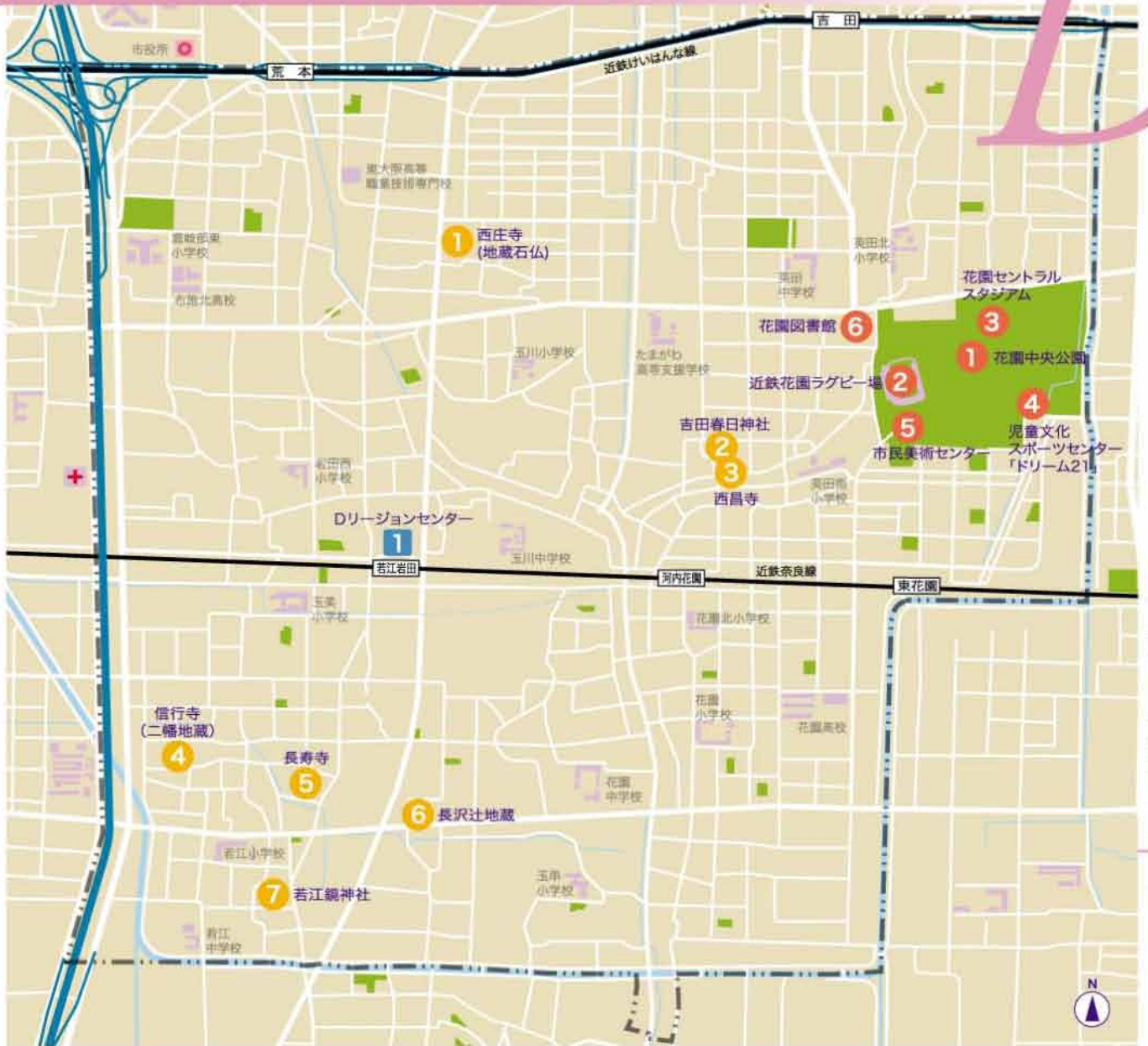


Dリージョンセンター（くすのきプラザ）

D地域の将来人口および人口構成割合（年齢区分）

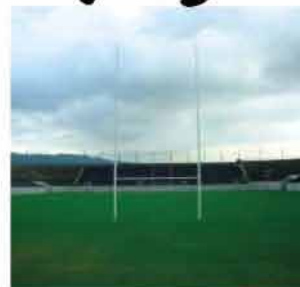


(出典)「平成12年国勢調査」および「平成17年国勢調査」総務省統計局より推計



- | | | |
|-------|-------------|-----------------|
| 歴史・自然 | 1 | Dリージョンセンター |
| | 1 | 西庄寺(地藏石仏)(市文化財) |
| | 2 | 吉田春日神社(市文化財) |
| | 3 | 西昌寺(市文化財) |
| | 4 | 信行寺(二幡地藏)(市文化財) |
| | 5 | 長寿寺(市文化財) |
| | 6 | 長沢辻地藏(市文化財) |
| 7 | 若江鏡神社(市文化財) | |

- | | | |
|---------|---|----------------------|
| 文化・スポーツ | 1 | 花園中央公園 |
| | 2 | 近鉄花園ラグビー場 |
| | 3 | 花園セントラルスタジアム |
| | 4 | 児童文化スポーツセンター「ドリーム21」 |
| | 5 | 市民美術センター |
| | 6 | 花園図書館 |



私の好きな東大阪の風景
近鉄花園ラグビー場

E地域

地域からの声、提言

E地域は、「人の交流が盛んで、安全・安心・便利なまち、稲田桃^{※1}が春には花咲き、夏にはたわわに実り、収穫でにぎやかなまち」をめざします。

中でも「交流」はこれからの地域づくりにとって重要なキーワードです。地域の将来像の実現に向け、地域の市民や団体などが交流し、一つになって取り組めるような仕組みが必要です。

※1 稲田桃：江戸時代には、この地域に日本古来の自生種の桃林が広がり、名産「稲田桃」の産地として知られていた。

地域の特徴と課題

地域のよい点

- ・ 楠根川緑地や新喜多公園などの公園緑地や、寺などの歴史資源があります。
- ・ 中央環状線や国道308号など、幹線道路があり、便利です。
- ・ 地域の特産品として、稲田桃があります。
- ・ 道が狭いので、住宅地に大型車が進入して来ません。
- ・ JRおおさか東線、大阪市営地下鉄中央線などの鉄道網が整っています。
- ・ だんじりなどの伝統文化が残っています。

地域の課題

- ・ 街灯が少なく、暗い地域があります。
- ・ 避難施設の耐震性や浸水被害対応の充実が求められます。
- ・ 公園などの地域の財産をこれからも市民と市役所の力で守り、有効に活用することが必要です。
- ・ 徳庵駅までバスが入れず不便で、旧村を中心に道が狭く入り組んでいます。
- ・ 鉄道や河川によって地域が分断されていて、交流が妨げられています。
- ・ 地域の団体間の協働が十分に図れていません。
- ・ 稲田桃を地域全体で育てていくことが重要です。

心も体も健康で元気に過ごせるまちづくりが進められていると思う市民の割合

平成20年

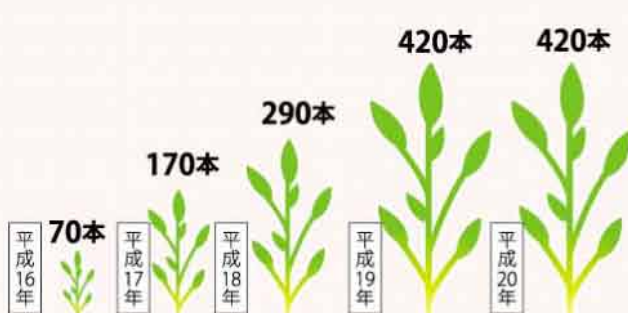
E地域 30.1%

東大阪市全体 27.4%

E地域の街頭犯罪^{※2}件数



稲田桃の累計植樹本数



※2 街頭犯罪：ひったくり・路上強盗・オートバイ盗・車上ねらい・部品ねらい・自動車盗・自転車盗・自動販売機ねらい。

市民や地域が取り組みます

1 犯罪や災害のないまちで安心して暮らせるようにします

地域には、暗く狭い道路があります。犯罪を未然に防ぎ、夜も安心して歩けるよう、市民や地域による「一戸一灯運動」をさらに進めていきます。

第二寝屋川の水害への備えとして、市民一人ひとりが高齢者への目配り、気配りを行い、地域ならではの情報を生かした防災地図(危険個所を示す地図)を市役所と一緒につくっていきます。

2 緑豊かな環境を育みます

貴重な地域資源である楠根川緑地、布施公園などの清掃や除草活動に取り組み、明るくきれいな緑地・公園などを維持していきます。

また、長瀬川や第二寝屋川、楠根川緑地などで、ウォーキングによる健康づくりに取り組むなど、緑豊かな環境を活用していきます。

3 安全に通行できる道路を考えていきます

地域には、広く区画された地域と狭く入り組んだ地域があり、特に旧村の幹線道路などでは、自動車の抜け道として利用されている危険な個所が多くあります。

道が狭いため、トラックなどの大型車両が進出してこないことについては、不便な半面、安全を守っているということも言えます。主に人が歩く道が、車の交通にも配慮すべき道かなど、道路の利用目的を考えると、市民が話し合いに参加して決めていきます。そして、市民一人ひとりが交通マナーやルールを守り、道路を利用するほか、公共交通機関の利用を促進していきます。

4 稲田桃がすくすく育ち、交流が育まれるまちにします

地域の共通の課題は「交流」です。地域みんなが交流し、一つの目標に向かってまちづくり活動に取り組んでいきます。

このため、リージョンセンターの施設などを活用しながら、地域の市民や団体が連携して問題を解決し、特色ある地域にするための仕組みをつくっていきます。

具体的な取り組みの一つとして、地域のシンボルである「稲田桃」を育成する輪を広げるため、苗の配布と育成、「一家一株運動」の推進、まとまった植栽場所を確保するための意見交換など、市民が関心を持ち、稲田桃を増やす運動を進めていきます。

市役所が共に取り組みます

犯罪を防ぐため、街灯・防犯灯を増やしていきます。また、地域の实情にあわせた防災地図の作成に取り組んでいきます。

・危機や災害への備えが万全なまち(27節:P102)

避難施設の耐震化や浸水対策事業を進めるほか、災害の危険性や対策の啓発活動、狭い道路で活躍できる消防設備などの配備、周知を行っていきます。

・危機や災害への備えが万全なまち(27節:P102)

だれもが、安心して利用できる公園を整備していきます。植栽を行うに当たっては、中高木の下枝などを管理するなど防犯面にも配慮していきます。

・水と緑に親しめるまち(29節:P106)

車椅子利用者などの交通弱者に配慮した道路の整備などを行うほか、事故多発個所に赤色灯や注意喚起看板などを設置し、利用者に注意を促していきます。

・みんなで支え合う福祉のまち(16節:P72) ・安全で便利な交通機関や道路のあるまち(31節:P110)

モノレールの南伸などを関係団体に働き掛けていきます。

・安全で便利な交通機関や道路のあるまち(31節:P110)

地域連携の「場」づくりに取り組むとともに、地域の交流を盛んにしていきます。

・市民が主体的に活躍するまち(1節:P34) ・多くの国・地域や人の交流が育まれるまち(8節:P52)



私の好きな東大阪の風景

第二寝屋川

E地域



E地域は、人口が緩やかに減少し、同時に高齢化が緩やかに進むことが見込まれます。

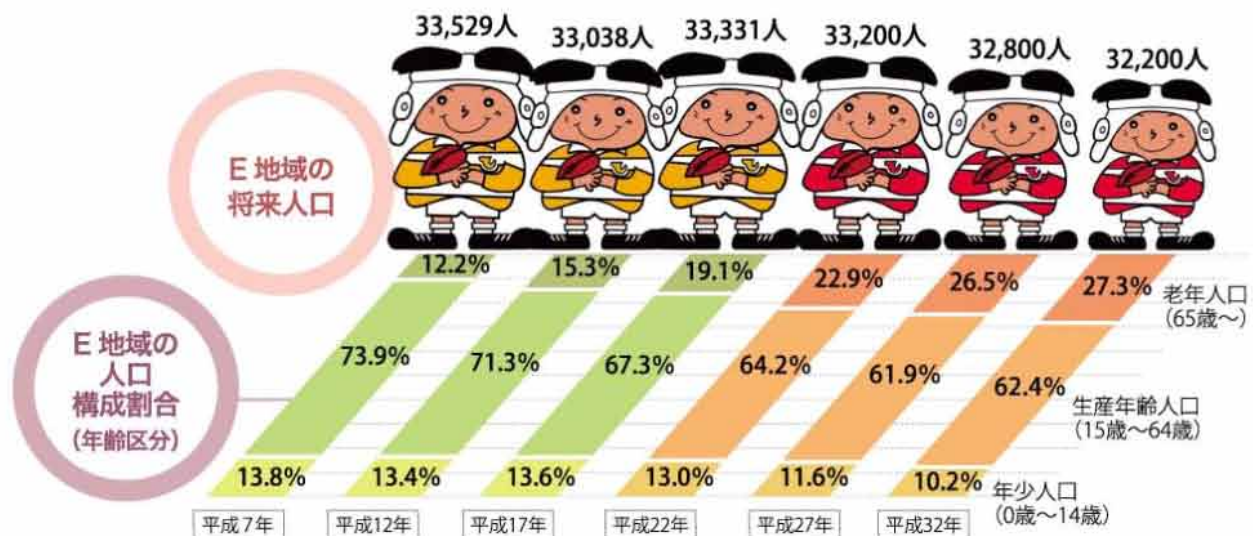


JR おおさか東線

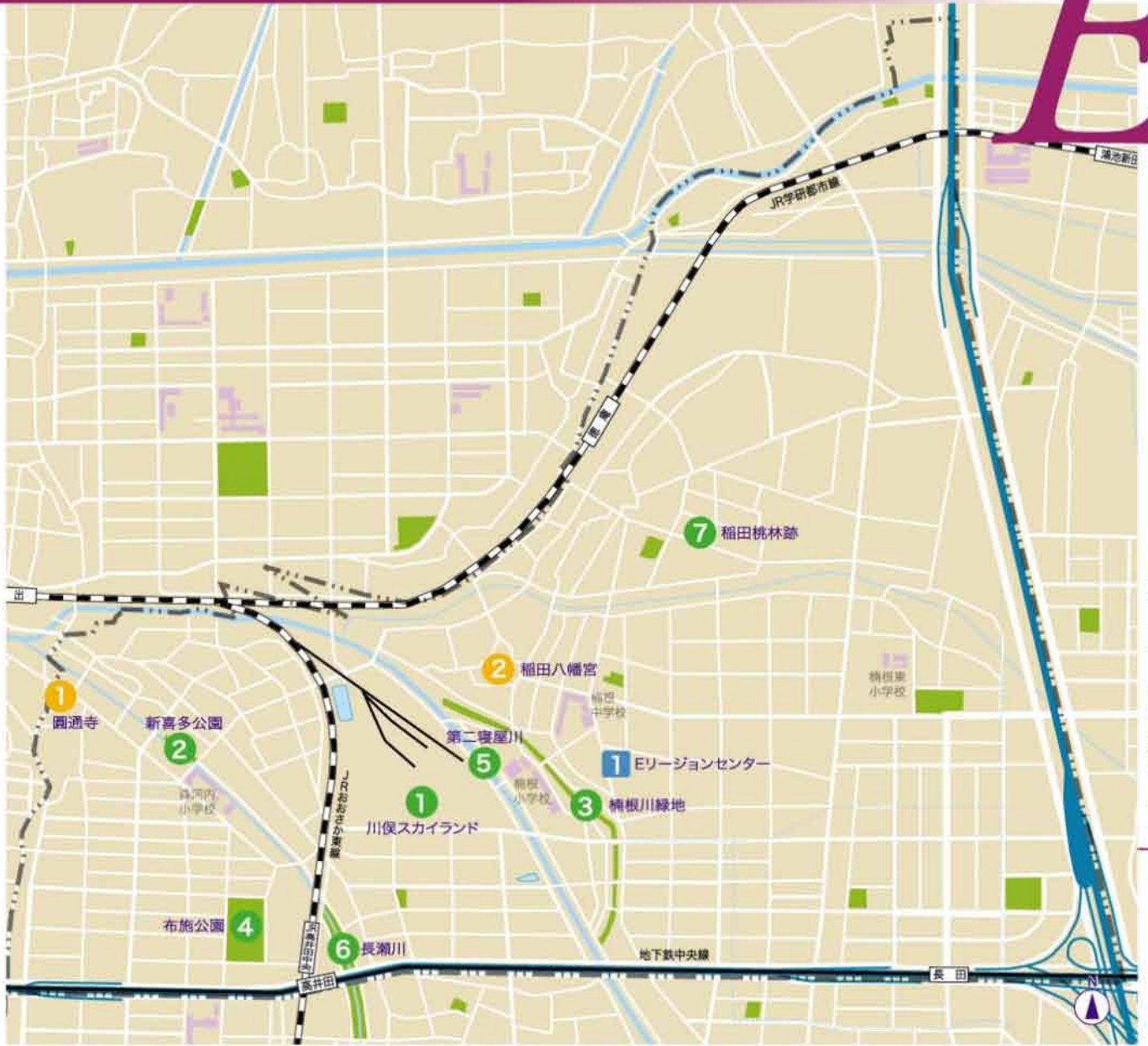


Eリージョンセンター（ももの広場）

E地域の将来人口 および 人口構成割合 (年齢区分)



(出典)「平成12年国勢調査」および「平成17年国勢調査」総務省統計局より推計



- | | |
|-------|------------------------|
| | 1 Eリージョンセンター |
| 歴史・自然 | 1 圓通寺(市文化財) |
| | 2 稲田八幡宮(市天然記念物) |
| 水・緑 | 1 川俣スカイランド |
| | 2 新喜多公園 |

- | | |
|-----|----------------|
| 水・緑 | 3 楠根川緑地 |
| | 4 布施公園 |
| | 5 第二寝屋川 |
| | 6 長瀬川 |
| | 7 稲田桃林跡 |



私の好きな東大阪の風景
稲田八幡宮

F地域

地域からの声、提言

F地域は、「高齢者も若者も住みよいまち」「活気あふれるまち」「安全・安心のまち」をめざします。

まちづくりを進めるに当たっては、多くの市民が参加でき、まちづくりの主体であることを実感できるように心掛ける必要があります。具体的には、市民が発案・実行し、市役所を巻き込み、協働するという過程を共通の原則とします。

まちづくりの活動を進める際には、既存の地域資源を生かし、市民や団体などで円滑なコミュニケーションを交わし、情報交換や協議の場を設けて合理的に取り組みます。

地域の特徴と課題

地域のよい点

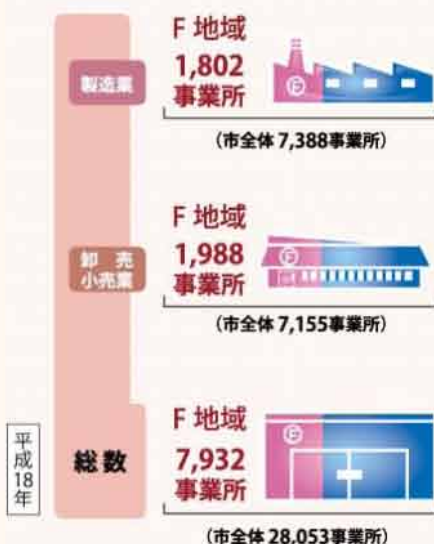
- ・近鉄やJR、地下鉄などの公共交通機関や、道路交通網などの都市基盤が整備されています。
- ・商店街やモノづくりなど、産業のまちの側面、多くの大学がある学問のまちの側面、司馬遼太郎や田辺聖子ゆかりのまちという文化のまち[※]の側面があります。

地域の課題

- ・何でも市役所に任せるのではなく、自分たちでできる取り組みは、市民や事業者、大学などの団体で連携して、自ら行う必要があります。
- ・防犯面で、ひったくりが多い、街灯が少ないといった問題があります
- ・住宅密集地の防災体制を整える必要があります。
- ・商店街、工場街の衰退や後継者不足への対応が必要です。
- ・高齢者と若者など世代間のコミュニケーションがうまく図れていません。

※1 司馬遼太郎や田辺聖子ゆかりのまち：下小阪には、故司馬遼太郎氏が多くの作品を生み出した自宅と一体化した司馬遼太郎記念館があり、また、菱屋西には、田辺聖子氏が学生時代を過ごした大阪樟蔭女子大学内に田辺聖子文学館がある。

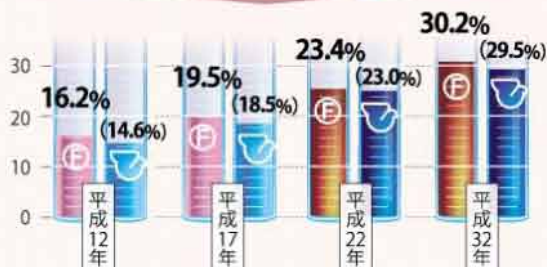
F地域の事業所数（市全体の事業所数）



F地域内の大学在学者数（F地域の人口に対する割合）



F地域の65歳以上の人口割合（市全体の割合）



市民や地域が取り組みます

1 地域課題解決の仕組みをつくります

地域の抱える課題を解決するため、市民や事業者、大学などの団体、市役所による、まちづくりを考える「場」をつくっていきます。まちづくりを考える「場」では、情報交換や協議を定期的、継続的に行うとともに、各種の取り組みや連携を速やかに行っていきます。

2 安全で安心できるまちにします

高齢者から子どもまでが安全で安心して暮らせるまち、若者が住みたいと思えるまちとするために、市民は、地域巡回や門灯の点灯、「愛ガード運動」への参加、ひったくり防止用具の使用、危険家屋の補修などを進めています。

また、地域では、「愛ガード運動」や高齢者世帯の把握、災害時の救助や避難に関する計画の作成などに取り組んでいます。

3 商店街を活性化し、技術のまちをアピールします

地域、特に商店街では、活性化に向けて、若年者層向け店舗の展開や空き店舗活用に学生のアイデア(買いや商店街おこしのイベントなど)を取り入れるほか、大学の研究活動の場として提供するなど、若い力を活用する取り組みが考えられます。これらを行うに当たっては、単に大学や学生に任せるのではなく、商店街の活性化を地域の課題として協議の場を中心に産・学・官協働で取り組むことが重要です。

また、郊外の大型店舗と差別化するため、歩いて(自転車で)買い物ができる商店街づくりに取り組んでいます。

モノづくりに関しては、東大阪市にしかない技術、製品がたくさんあることから、技術の発信基地を設け、技術を知る観光施策などに取り組み、市民や全国に向けて技術のまちをアピールしていきます。そしてそれを見聞きた市民一人ひとりが、東大阪市の技術のPR役を担っていきます。

4 コミュニケーションを育みます

学校や図書館などの公共施設を、地域が協力して活用できる仕組みをつくっていきます。利用時間などは利用者のニーズに合わせて弾力的な運営を行い、地域のだれもが気軽に立ち寄り、楽しめる文化活動を行うなど、あらゆる世代のコミュニケーションが活発に行われる交流の場としていきます。

地域教育の場としては、地域の職業人や高齢者が小学校で特別授業を行うなど、郷土愛の醸成や、高齢者の社会参加、地域の企業の次世代育成に寄与する仕組みをつくっていきます。

また、若者が集まり定着するまちとするため、若者が楽しめ、親しむことができる文化(音楽や芸術など)活動に取り組んでいます。

市役所が共に取り組みます

「場」の立ち上げに取り組むほか、「場」の一員として参加、協働していきます。また、運営サポート、関係団体などとの連絡・調整を行っていきます。

・市民が主体的に活躍するまち(1節:P34)

安全・安心のまちづくりに向けて、市民や地域と連携して取り組んでいます。また、市民への啓発や、密集市街地対策、隣接市との境界付近での相互救急体制の確立などを行っていきます。

・みんなで支え合う福祉のまち(16節:P72) ・危機や災害への備えが万全なまち(27節:P102)

産業振興費用の助成や、産学と地域と連携した取り組み、関係者間の調整などを行っていきます。

・多くの国・地域や人の交流が育まれるまち(8節:P52) ・モノづくりが元気なまち(21節:P86)
・買い物しやすいまち(22節:P88)

市民が便利に文化活動を行えるよう施設の整備を行うとともに、公共施設を利用しやすくしていきます。また、市民が文化を身近に親しめる機会を提供していきます。

・文化に親しめるまち(6節:P48)

高齢者が活躍する場の提供や、モノづくり企業の次世代育成に取り組んでいます。

・高齢者が生きがいを持って暮らせるまち(18節:P76) ・モノづくりが元気なまち(21節:P86)



私の好きな東大阪の風景

小阪

F 地域



F地域は、人口が減少し、同時に高齢化が進むことが見込まれます。

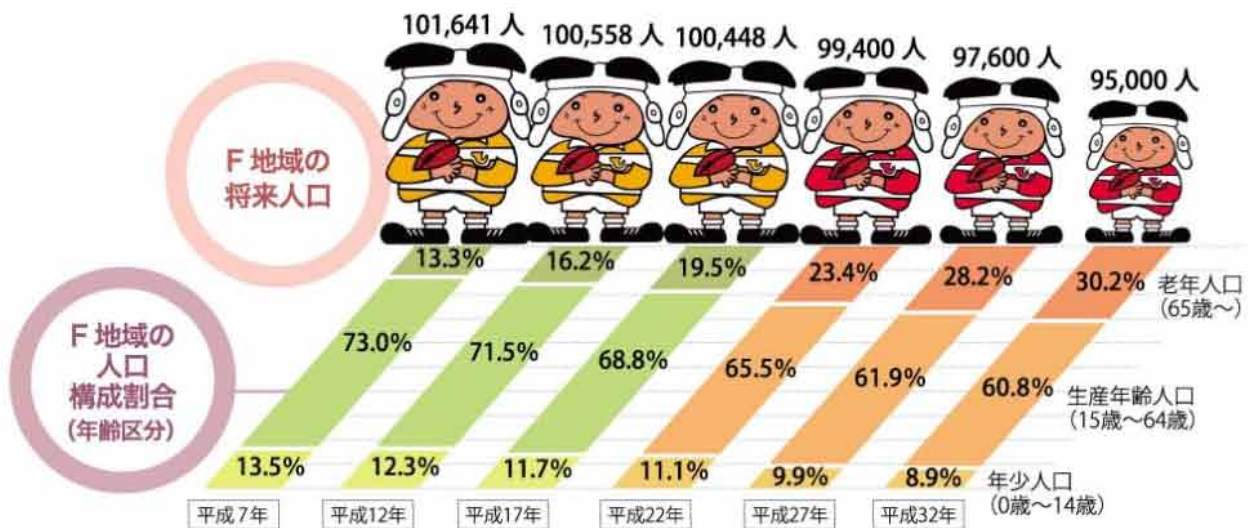


田辺聖子文学館

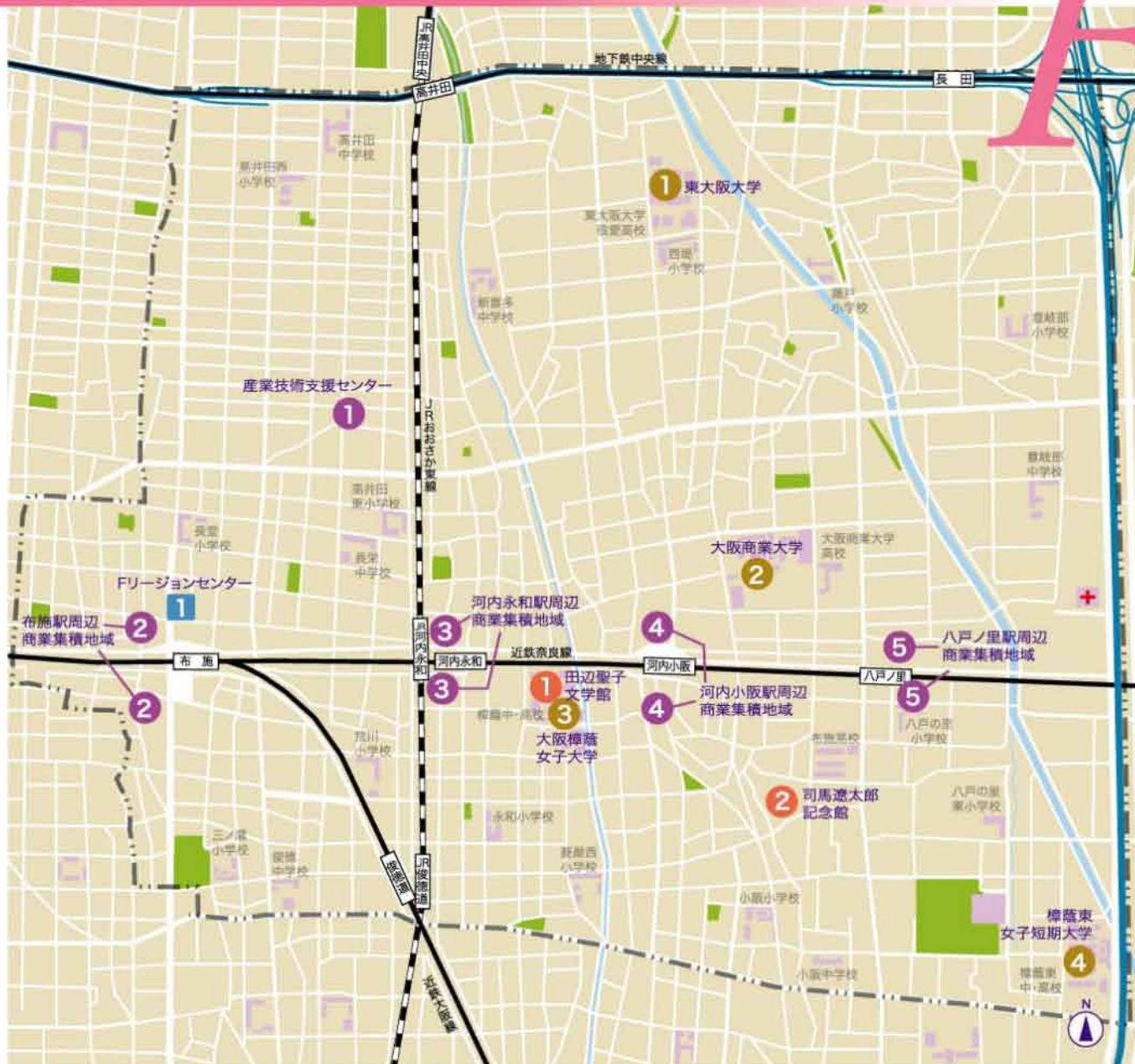


Fリージョンセンター（夢広場）

F地域の将来人口 および 人口構成割合 (年齢区分)



(出典)「平成12年国勢調査」および「平成17年国勢調査」総務省統計局より推計



	1 フリージョンセンター
文化・スポーツ	1 田辺聖子文学館
	2 司馬遼太郎記念館
大学	1 東大阪大学
	2 大阪商業大学
	3 大阪樟蔭女子大学
	4 樟蔭東女子短期大学

産業	1 産業技術支援センター
	2 布施駅周辺商業集積地域
	3 河内永和駅周辺商業集積地域
	4 河内小阪駅周辺商業集積地域
	5 八戸ノ里駅周辺商業集積地域



私の好きな東大阪の風景
小阪

地域からの声、提言

G地域は、地域の持つ資源を活用し、地域が抱える課題を解決するために、地域の大きな資源である長瀬川を核とした取り組みを中心に、美化や防災、福祉、教育などで、市民や事業者、大学などの団体、市役所が協働し、一丸となって取り組みます。

また、地域まちづくりを考えていく第一歩として始まった、まちづくりの「場」の活動を広げ、まちづくりにかかわる情報交換や交流、課題共有を進めます。

地域の特徴と課題

地域のよい点

- ・近所付き合いが活発で、地域のまとまりもよく、地域への愛着や互助意識があります。
- ・近鉄大阪線とJRおおさか東線があり、交通の便がよく、また買い物しやすいまちです。
- ・長瀬川沿いには、遊歩道や桜並木、樟徳館などの地域資源があります。
- ・久宝寺緑地や金岡公園など、大きな公園緑地があります。
- ・大学があり、学生が多いまちです。

地域の課題

- ・コミュニティーへの支援が不足しています。
- ・少子高齢化が進んでいます。
- ・古い住宅が密集している地域があります。
- ・道路整備が遅れており、通行が危険です。
- ・鉄道や道路で地域が分断され、踏切が交通の妨げとなっています。
- ・まちに緑を増やす必要があります。
- ・長瀬川などの地域資源を、うまく生かすことができていません。
- ・大学や学生と、うまく協力できていません。

水と緑を生かしたまちづくりが進められていると思う市民の割合

平成20年

G地域 25.2%

東大阪市全体 28.4%

G地域内の大学在学者数（G地域の人口に対する割合）



G地域の65歳以上の人口割合（市全体の割合）



市民や地域が取り組みます

1 コミュニティー活動を盛んにします

美しいまちにするため、市民一人ひとりが日ごろから自宅の前を掃除し、地域では学生や市職員を含めた、たくさんの市民が参加できる美化活動を催していきます。

また、防災訓練などは、団体役員が中心の訓練からはじめ、地域の人への声掛けや、他の地域行事日に合わせて実施するなどして、参加率を上げていきます。

子育てについては、子育て経験者がボランティアとなって、小さな子どもがいる家庭への支援や、子ども同士の交流の場づくりなどを考えていきます。

地域の取り組みを進めるためには、まちづくりの「場」の活動を広げていくほか、公共施設などを活用して、集まることのできる場所を増やしていきます。

2 利用しやすく、安全な道路や交通環境をつくります

商店のはみ出し陳列や看板のはみ出しを防ぐなど、歩行者や高齢者が安全に道路や歩道を利用できるようにしていきます。

3 長瀬川を核としてまちづくりを考えます

地域の中心を流れる長瀬川は、遊歩道が整備され、市民の憩いの場となっています。さらに、にぎわいのあるまちとするため、沿道の地域資源を使ったイベントや、川沿いの遊歩道のライトアップなどに取り組んでいきます。

また、川沿いの遊歩道にある樹木やベンチ、トイレなどは、地域と市役所が協働で維持管理していきます。

4 地域と大学の連携や交流を進めます

地域にある大学の人的資源を生かして、地域と大学と市役所が一つになったイベントの企画や、大学教員による公民館での講座の開催などの取り組みにより、大学との連携や交流を進めていきます。

地域の役割としては、活動場所の提供や参加の呼び掛けなどを行っていきます。

さらに、市内の全大学や各種学校との連携や交流を進めていきます。

市役所が共に取り組みます

協働のまちづくりの「場」づくりや仕組みづくりに取り組むとともに、公共施設を利用しやすくしていきます。

・市民が主体的に活躍するまち(1節:P34)

地域の防災活動を活性化していきます。

・危機や災害への備えが万全なまち(27節:P102)

地域で子育てできる仕組みをつくっていきます。

・安心して子どもを生み、育てられるまち(17節:P74)

歩道と車道の段差の解消や、横断歩道を使いやすくするなど、歩行者や障害のある人に配慮した道路整備を進めていきます。

・みんなで支え合う福祉のまち(16節:P72) ・安全で便利な交通機関や道路のあるまち(31節:P110)

近鉄大阪線の高架化の実現をめざし、関係団体などに働き掛けていきます。

・安全で便利な交通機関や道路のあるまち(31節:P110)

利用者に長瀬川をより身近に感じてもらえるよう、人と水、人と緑の距離が縮まるような遊歩道にしていきます。

・水と緑に親しめるまち(29節:P106)

大学への呼び掛けや、地域と学生による協働企画への参画、大学内活動の地域への発信など、地域と大学をつなぐ窓口の役割を果たしていきます。

・市民が主体的に活躍するまち(1節:P34) ・いくつになっても学べるまち(9節:P54)



私の好きな東大阪の風景

近畿大学

G 地域



G地域は、人口が大幅に減少し、同時に高齢化が進むことが見込まれます。

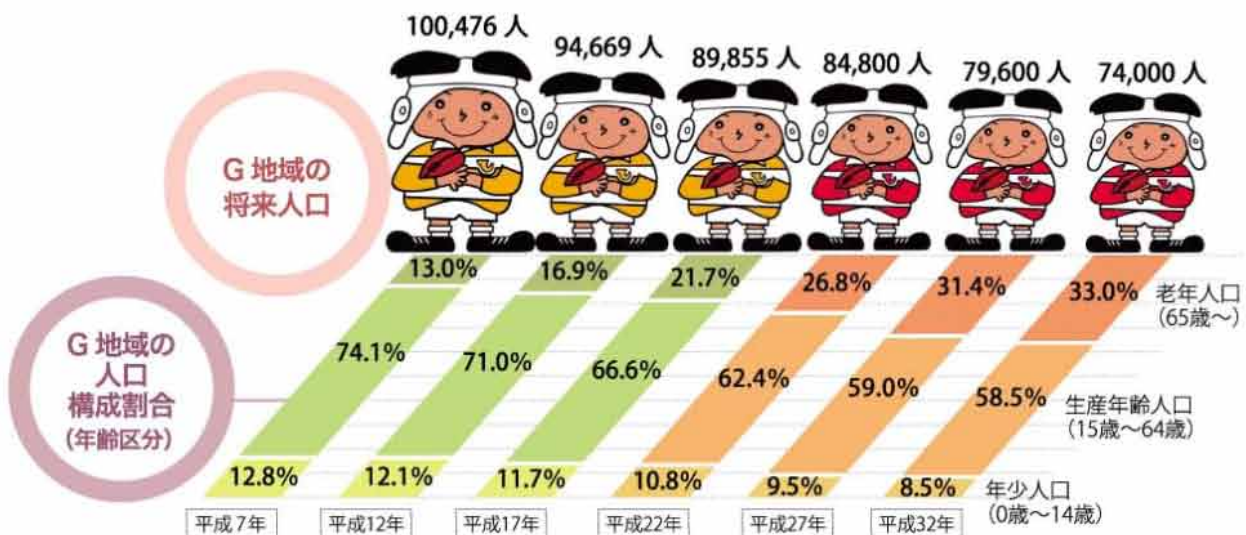


金岡公園

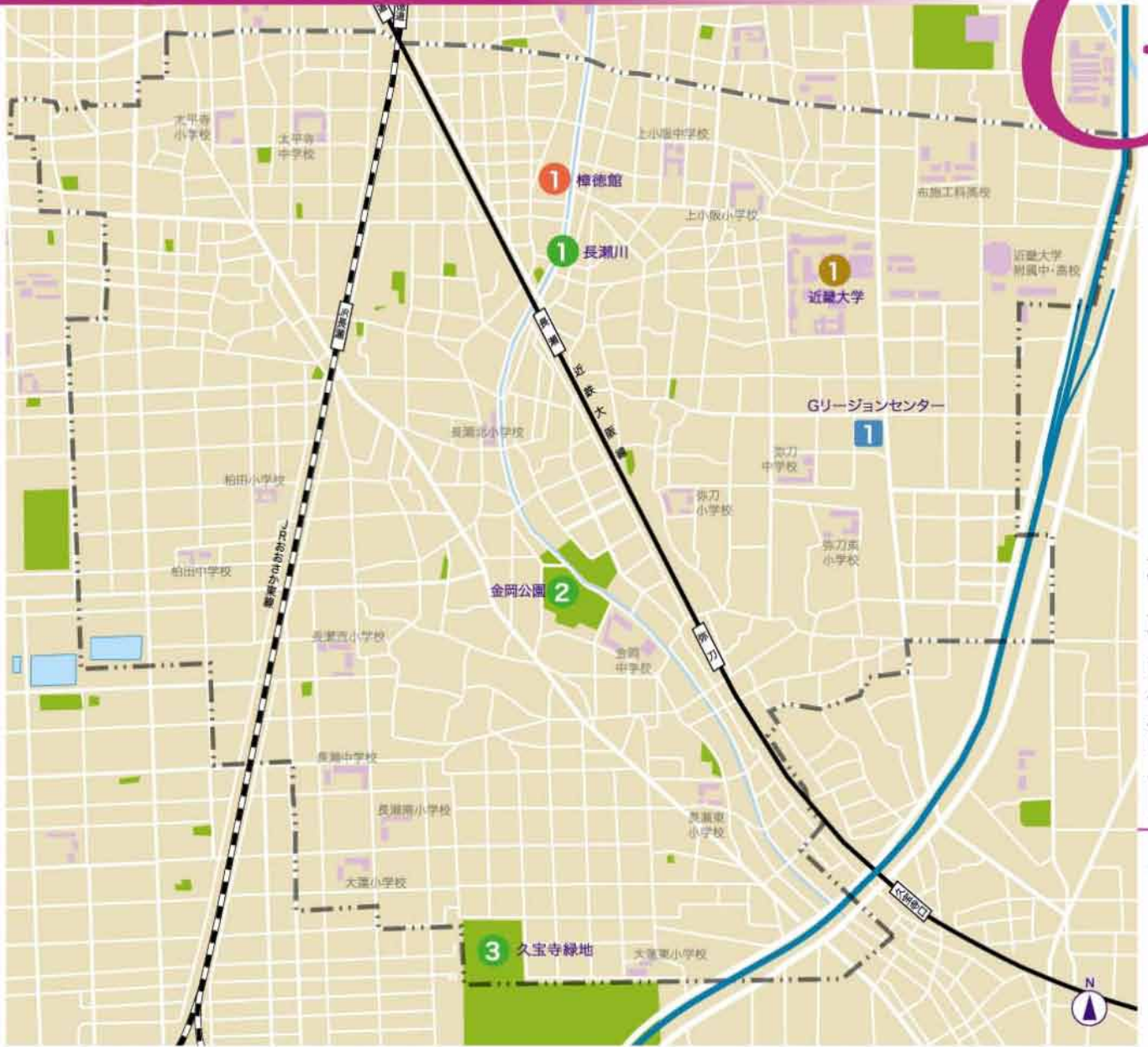


Gリージョンセンター（はすの広場）

G 地域の将来人口 および 人口構成割合 (年齢区分)



(出典)「平成12年国勢調査」および「平成17年国勢調査」総務省統計局より推計



- 文化・スポーツ**
- 1 Gリージョンセンター
- 1 樟徳館

- 水・緑**
- 1 長瀬川
- 2 金岡公園
- 3 久宝寺緑地
- 大学**
- 1 近畿大学



私の好きな東大阪の風景
長瀬駅前